

2013年4月

名城大学 理工学部 建設システム工学科は

社会基盤デザイン工学科にリニューアル[※]します。

ボクらのまちを デザインする。

住みやすい「まち」に必要なものは何ですか。
やすらぎの場所、快適な機能、美しい景観。
人が気持ちよく暮らし、こころを満たすことができる、
そんな未来の「まち」を、あなたもデザインしませんか？

社会基盤デザイン工学科

まちをデザインする——それは、人々の多様な願いを“カタチ”にすること。

人々がしあわせに暮らせる「まち」とは——

地震や洪水など災害に強い「まち」

電気やガス・水道などのライフラインが整った「まち」

緑豊かな公園、潤いの水辺など、やすらぎを感じる「まち」

社会基盤デザイン工学科は、理想の「まち」をデザインするエンジニアを育てます。



河川の治水・利水



長大橋



空港整備



中央リニア



都市計画



ダム

教育

まちづくりのスペシャリストを育てます。

市民生活を支えるシビル・エンジニアを育成するため、学年ごとに段階的な教育を行います。1、2年次には、数学、物理学などの理工学基礎や専門科目の基礎を修得。3年次には、目指す進路に応じて2つのコースに分かれ、専門分野をより深く学んでいきます。

「都市プランナーコース」

都市計画や防災計画など、ソフトデザインを学びます。

「社会基盤クリエイターコース」

橋や道路の設計など、ハードデザインを学びます。

本学科では、デザインの美的側面に関する考察や理解から課題解決までの総合的なデザイン教育を行うとともに、JABEE(日本技術者教育認定制度)認定のプログラム^{*}を通じ、国家資格である「技術士」の資格取得に直結する質の高いエンジニア教育を実施。さらに、時代のニーズである情報化や国際化に対応した教育も行っています。^{*}JABEEは認定審査申請予定



1

2



3

4

- 1 CAD実習
- 2 高速道路交通管制室の見学
- 3 設計と構造的な強度を競うブリッジコンテスト
- 4 フレッシュマンセミナーでのグループワーク

研究

次世代の社会基盤を探求する。

研究テーマは「自然災害のリスクに備え、人々の生命や財産を守る」こと。構造物の耐震化や地盤の液状化対策、河川や海岸の治水対策など、安全なまちづくりに直結する様々な研究を行っています。

さらに「快適で暮らしやすいまちづくりを実現する」こと。

自治体や地域コミュニティと連携しながら、新交通システムやコンパクトシティの提案など、持続可能な都市環境を作り出す実践的な研究も行っています。



1 河川調査



2

3 構造解析シミュレーションの一例



3

4 名古屋市の道路ネットワーク混雑状況の予測

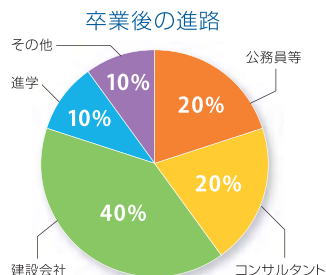


4

就職

先輩たちは、まちづくりに欠かせない存在。

OBの多くは、国土交通省や愛知県・名古屋市などの官公庁、自治体、鉄道会社、建設会社、建設コンサルタントなどの企業で、まちづくりの重要なポジションに就き、活躍しています。被災地の復興支援や、中央リニアなど、次世代交通網の整備、都市の再開発など、将来を担う人材として本学科の卒業生には期待が寄せられています。



2013年4月、新校舎完成予定。



名城育ちの達人を社会に送り出す

名城大学

お問い合わせは、
理工学部建設システム工学科へ

TEL 052-838-2018(入学センター)・052-838-2062(学科事務室)
FAX 052-832-1178(学科事務室) <http://civil.meijo-u.ac.jp/>